

sign! sing!! smile ♪ ~手が持つ“カ”~
 水口町出身のシンガーソングライター
yokkoさん



水口町出身のyokkoさんは、ピアノ弾き語りと手話をつけて歌うスタイルのシンガーソングライター。ライブやイベントだけでなく、教育現場や福祉施設での講演会ライブや手話歌ワークショップなども積極的に行っています。「手が持つ“カ”」を信じて幅広く活躍するyokkoさんにお話を伺いました。

■手話歌ワークショップ?

「手話ってこれまで習ったことがないよ。」というような方でも、もちろん楽しめる内容です。日常の簡単な挨拶の手話を学んでもらったり、人気アニメ・トトロの「さんぽ」や唱歌「ふるさと」といったおなじみの曲に手話を付けてみんなで歌ったりします。

■「手が持つ“カ”」って?

例えば、いくらおもちゃであやしても赤ちゃんが泣き止まないとき、お母さんが抱いてトントンしたらその温もりから伝わる愛情に安心してずっと泣き止んだりすることがありますよね。手には言葉以上に想いを伝える力があると思うんです。

■これからの目標は?

この先ずっと、ピアノ弾き語りや手話歌の活動を続けていきたいですね。特に、手話が与えてくれた素晴らしい出会いや発見がこれまでにたくさんあったので、手話歌の活動は必ず続けたいです。幼いころに歌手になりたいと思った、純粋な気持ちを持ち続け、その瞬間だから感じられることを大事にしながら歌っていきたいと思います。



元気な まぢがど



1 news **新茶の茶摘み**

心をこめて一摘み一摘み
 滋賀県で今年最初となる、新茶の茶摘みが4月24日、水口町虫生野の茶園で行われ、澄み渡る青空の下、40人の摘み子さんたちが柔らかな新芽を丁寧に摘み取りました。茶園を運営する藤村春樹代表は、「霜の被害も無く、申し分のないお茶が出来そう。」と丹精込めて育った茶葉の育成を喜んでいました。



▲澄み渡る青空の下で新茶摘み

3 news **ケンケト祭り**

子どもが元気にケンケトケンケン
 「ケンケト祭り」が5月3日、土山町前野の瀧樹神社で行われました。この祭りでは、例年、伝統の「ケンケト踊り」が奉納されます。今年は、土山町徳原区の子ども5人が踊りを披露しました。孔雀の羽根で飾られた色鮮やかな衣装を身にまとい、「ケンケトケンケン」の掛け声に合わせて踊る踊り子たちに、多くの観光客は魅了されていました。



▲ケンケト踊りを奉納する子ども

2 news **10周年記念式典**

シルバー人材センターのあゆみ
 シルバーフェスティバル2015が4月26日、あいこうか市民ホールで開催されました。甲賀市シルバー人材センターは今年、統合10周年となる節目の年を迎えました。式典では、出席された約700人の会員がセンターの活動を振り返るとともに、今後、ますます高齢化する社会におけるシルバー人材センターの役割を確認しました。続いて、センターの振興発展に貢献された会員に感謝状、表彰状が授与され、会場からは惜しめない拍手が送られました。



▲拍手の中、賞状を贈呈される会員

4 news **しがらき作家市**

作り手と使い手の交流の場
 しがらき作家市が、5月2日から5日の4日間、陶芸の森で開催されました。この催しは今年で9回目となり、地元信楽町の作家をはじめ、県内外から100人を超える作家が自慢の作品を出品しました。作家自らが作品を展示販売することで、作り手と使い手が直接言葉を交わせる、人気のイベントとして知られています。毎年欠かさず訪れるというご夫婦は、「温かい心のふれあいが魅力。」と作品を手に取り、作家との会話を楽しんでいました。



▲多くの観光客で賑わった作家市